

くぎだん速報

日本共産党板橋区議団発行：TEL (3579) 2717 FAX (3579) 2731
URL: <http://www.jcp-itabashi.gr.jp/> twitter: @ItabashiJcp

日本共産党板橋区議団は、2024年第1回定例区議会閉会を受け、幹事長談話を発表しました。以下全文を掲載いたします。

2024年第1回定例区議会を終えて【幹事長談話】

日本共産党板橋区議会議員団幹事長 竹内愛

2月14日から開かれた第1回定例区議会は38日間の日程を終え、3月22日に閉会しました。区長提案議案37件、区議団提案議案2件、陳情10件を審査し、区長提案議案の全件可決、区議団提案議案は全件否決、陳情は1件が採択され、9件は不採択となりました。物価高騰の影響を受け、疲弊する区民生活への支援強化が求められるもとで2024年度の区政運営のあり方が問われる議会でした。

大規模開発中心の区政運営

区は、2024年度を『2026年度を始期とする次期基本構想・基本計画の策定に着手する年』とし、区の実施計画である『いたばしNo.1実現プラン2025』を改訂しました。この中では、コロナ禍や物価高騰の影響を踏まえ延期していた旧保健所跡地活用の再検討が示されましたが、これまでの公共施設の総量抑制・人件費削減・官から民への構造改革を一層進めるものとなっています。また、区内4か所での大規模な開発事業と一体の区政運営がより強調されています。

基金総額1299億円(一般会計予算の約50%)に

こうした方針を基に示された区長提案の2024年度当初予算には学校給食費無償化や区立保育園での医療的ケア児の受け入れ拡大、補聴器購入助成の拡充など、区民の皆さんと取り組んだ要求が盛り込まれたものの、区民生活や中小零細事業者への支援、気候危機・災害対策、教育費の負担軽減等やるべきことが全く足りていません。一方で、区の税収は増え、基金は2022年度末1144億円から155億円積み上げ、総額1299億円と過去最高額です。

⇒次ページに続く

⇒つづき

区議団は、307億円の財政調整基金が積み立て方針の改訂により今後400億円以上の積み立てが可能になることを明らかにし、区民生活へのさらなる支援を求めました。また、医療や介護の負担が限界になっている中で更なる国保、後期高齢、介護いずれも保険料が引き上げとなっています。区議団は、自己負担の軽減が可能であることを示し、値上げに反対しました。

積極提案で論戦をリード

区議団が提案した予算修正動議は、家具転倒防止器具設置助成の対象拡大、産後一か月検診助成、ひとり親世帯へのホームヘルパー派遣事業の対象拡大、断熱化促進事業、木造住宅耐震化助成事業の拡充、就学援助制度の拡充として総額2億6837万円を増額修正するものです。これは、一般会計予算の0.1%、基金総額の0.2%で実現できます。これまで提案してきた事業が後に実現することも多く、論戦をリードする区議団の役割は重要です。引き続き、要求実現のため力を尽くして参ります。

2024年3月29日

当面の日程

※議運及び各常任委員会は傍聴可能。本会議はインターネット中継もあります。

○臨時議会

4月12日【告示】 10時～幹事長会、10時15分～議会運営委員会

16日(火) 10時～本会議(休憩中・企画総務委員会)

○閉会中各常任委員会

4月17日(水) 10時～ 企画総務・区民環境・健康福祉

18日(木) 10時～ 都市建設・文教児童